

Voices



ヴォーリスだより



特集

令和元年度 ヴォーリス記念病院「がんセミナー」

巻頭言

「新世紀の当院の進むべき姿」

公益財団法人 近江兄弟社
常務理事・事務部長 堀井 由高



Vol. 143

2020年3月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
— 私たちは、基本理念を大切にします。 —



「新世紀の当院の進むべき姿」

公益財団法人 近江兄弟社
常務理事・事務部長 堀井 由高



当院は、2018年5月に開院100周年を迎え、既に新たな世紀の歩みを始めています。間もなく終わろうとしている2019年度を振り返り、来たる2020年度を展望したいと考えます。

令和改元の記念すべき2019年度は、当院にとっても大きな変革の年でした。4月にお迎えした五月女新院長は、着任以来毎週、全入院病棟総回診を実施され、全ての患者さんの手を握り笑顔で声掛けをされています。患者さんはどんなに安心感・勇気・癒しを感じておられる事でしょう。同時に着任いただいた中村チャプレンは、阪神淡路大震災被災で人としての痛みや弱い立場に立たされた経験が人間力の根底にあり、人に寄り添い包み込む優しさが既に多くの患者・利用者様の心を惹きつけています。

9月には、時代と地域のニーズに的確に応えるべく、回復期リハビリテーション病棟（42⇒60床）と医療療養型病棟（60⇒42床）の病棟変換を実施しました。家族説明会や諸準備は大変でしたが、移転当日は職員総出で予定よりも早くスムーズに無事故で患者さんの病棟移動や物品・備品の移設を完了しました。職員一丸の正に“ワンチーム力”の発揮にはこの上ない心強さを感じました。御陰様で今や両病棟とも100%稼働で本施策が間違いでなかった事を確信しています。

11月には、広域災害で当院が孤立した想定で、近畿圏DMATが出動する訓練が実施されました。有事の際の様々な課題が浮き彫りになり、患者さんや職員が他からの支援なしで2～3日踏ん張る方策やBCP計画策定の重要性を痛感しました。

上記施策が奏功且つ上手く噛み合い、2019年度は増収増益で締めくくるべく全力を傾注している処です。

来たる2020年度は、病院の新築移転計画が本格稼働する重要な年度になります。

国・都道府県が推進する『地域医療構想』に準拠した病棟の再編、老朽化・機能低下が進む各建物の修繕費用の増大と継続使用のリスク、点在する5つの建物で分離された病院機能に対する患者・利用者・職員目線での非効率・動線の悪さ等を克服すべく、数年前より様々な角度から建替えを模索検討してまいりました。

幸いにも昨年、県道を挟んだ近江八幡市有地11,626㎡を取得するご縁をいただき、理事会・評議員会による慎重審議・決議を経て、2020年秋着工、2022年3月完成を目指し、計画が本格稼働する年度となります。

一つの建物で病院機能が全て完結する療養環境・職場環境の大きな改善と効率化、機動的・臨機応変な病棟機能再編・変更可能、収益面・経費面の大幅改善等の投資効果が見込まれます。

一世紀の間、地域医療の一翼を担ってきた当院は、従来以上に利便性の高い、安心して治療・加療いただける医療体制を整え、地元の期待に応え地域になくてはならない病院であり続ける為に、「寄り添う力」・「祈る力」を信条とし、これからも力強く邁進し続けます。

チャブレンだより⑤

菜の花

チャブレン 中村 信雄

ため息をつきながら峠を登っていたときの事です。冬に枯れた草が細い道の脇を覆っていました。その風景は、当時の私の心境と重なっていました。

そんなとき、枯草と生え始めた野の草の中にある、小さくて黄色いものが目に留まりました。立ち止まり、歩いて近づくと弱々しく咲いた一本の菜の花でした。力強く足早に通り過ぎていたら気付くことのない、そんな儂い出会いでした。おそらく私以外には見られることなく枯草となり土に戻ったことでしょう。

しかし、この菜の花は誰かに見られるためではなく、ただ与えられた場所で自分の花を咲かせていたのです。その小さく儂いのちの輝きに、ハッとさせられ、その美しさに涙が溢れてきました。「こうやって生きればいいんだ」、そう思ったからです。枯草と野の草の中に隠れ、ひっそりと咲く菜の花に心が慰められました。

人は皆、人生の旅路において弱さを抱え、無力で儂い自分の姿に悲しみを覚えることがあります。しかし、そんなときにこそ大きな愛に包まれ、生かされている本当の自分に気付くことができるのです。いつまでもこの菜の花を忘れずにいたいと思います。



部署紹介

薬局

薬剤師 新庄 安宏

病院の薬剤部門である薬局は、院外処方箋を持って行って調剤してもらう保険薬局とは異なり、入院中の患者さんに対して使用される医薬品を取扱います。医薬品は錠剤やカプセルなどの内服薬だけでなく、湿布薬や塗り薬などの外用薬、点滴やワクチンなどの注射薬、輸血用血液製剤など様々な形の医薬品の管理と調剤を行っています。

当院では病棟毎に薬剤師を配置しており、患者さんの部屋で服薬について説明を行ったり、退院される時は家族に管理について助言したりするなど、伝統的に病棟での業務に力を入れています。他にもチーム医療に貢献するために感染管理チームや栄養サポートチームに参加しています。

最近では、医師の訪問診療に同行して薬剤選択の支援を行うなど、病院外での活動を始めました。ただし、在宅薬剤管理の活動を広げるためには、院内の体制をしっかり整えたうえでなくてはなりません。時代の変化に合わせて医療を提供するべく、創設者W.M.ヴォーリズの大志をもって望んでまいります。



特

集

令和元年度 ヴォーリス記念病院「がんセミナー」

ヴォーリス記念病院では、毎年「がんセミナー」と題して、広く地域の皆さまに向けて「がん」に関連して向き合うさまざまな課題や問題について、各専門分野の方々をお招きし「セミナー」を開催しています。

第1回

2019年12月14日（土）

「緩和ケア分野における病院と在宅医療」

講師：医療法人 尼崎厚生会立花病院
緩和ケア認定看護師 高橋 由佳 氏
つじ訪問看護ステーション
看護師 太田 多恵子 氏



参加者の感想

- ・緩和ケアとは、生命と生命の質を高めると感じた。
- ・「いのちのバトン」の話が心に残りました。これから時間を大切に生きていきたいです。
- ・緩和ケアの考え方や変遷や現在の実際の話聞かせて頂き、とても参考になった。
- ・「残る時間にどのように家族(病人)側にいるか、側にいることの大切さ」を学びました。
- ・笑いヨガが良かったと思いました。家でもやってみようと思いました。
- ・緩和ケア病床が不足していると感じた。
- ・痛み治療して頂ける施設をもっと増やしてほしい。
- ・在宅看護の話詳しく聞くことができ良かった。自分の人生をしっかりと見つめ直す機会をもらうことができた。
- ・在宅でも痛み治療が必要と思う。

第2回

2020年1月11日（土）

「消化器がんの最新知見

～早期発見のコツから免疫療法・ゲノム医療まで～」

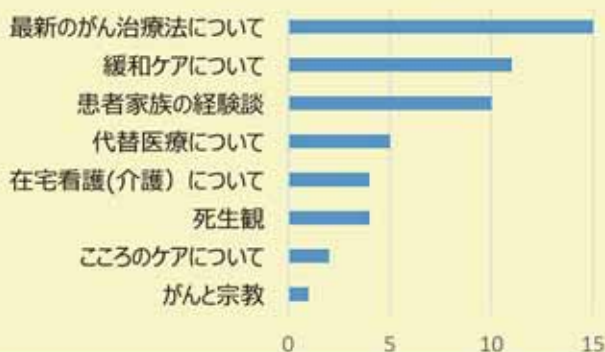
講師：滋賀医科大学医学部附属病院
消化器内科 病院准教授 稲富 理 氏



参加者の感想

- ・最新の情報が現場のドクターから得られて良かった。
- ・がんの早期発見のポイントから検診の重要性が大きく認識できた。
- ・セミナーを受けて最新治療で100%がんが治らないなら、緩和ケアを受けて自然体の生活がしたいと思った。
- ・すい臓がんの早期発見方法、糖尿病、超音波検査についての話が印象に残った。
- ・すい臓がんについての取り組みを知り、一度は人間ドックの検査を受けるべきだと感じた。
- ・詳細に説明して頂けて、良かった。

今後取り上げてほしい内容



(第一回・第二回のアンケート集計結果です。)



総勢52名のご参加ありがとうございました。
今後も皆さんの健康に役立つ情報を提供してまいります。

健診と検診はどこが違う

医師 瀧 俊彦

日本人の死亡原因の約6割近くを占めている上位3は、脳血管障害、心血管障害、悪性腫瘍となっている。健診は、人間ドックや特定健診などいわゆる疾病に対する1次予防に相当し、検診は、特定の病気の早期発見を目指し、40-74歳の日本人の死因やこれらの疾病率を少しでも減らそうとして行われている。

健診では、前2疾患は高血圧や動脈硬化が原因となり、いわゆる生活習慣に起因する（生活習慣病）とされ、内臓脂肪、脂質異常、高血圧、糖尿病などの異常値の早期発見及び治療への誘導をしようとしている。

では、検診は何を目的として行われているのであろうか。

三番目の悪性疾患では、検診による早期発見が可能なものとして、肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がんの検診が行われている。しかし、早期発見が生命予後の改善につながるかは長く検討されなかった。米国では、肺がん検診は意味がないとされてきたが、2013年、CT検診によるハイリスク群の検診で、予後改善が優位さをもって証明されたため行われるようになった。しかし、一部では費用対効果が改善していないとの意見も根強い。

日本のがん検診で一番の問題点は受診率が低いことである。

米国との比較を見ると、女性で特に低く、乳がんの受診率は80.4%対36.5%、子宮頸がんでは85%対37.7%と半分以下である。別の統計でも、肺がんでは男性47.5%対女性37.4%、胃癌は同じく45.8%対33.8%、大腸がんでは41.4%対34.2%で、米国の約半分しか受診をしていない。受診しなければ発見も出来ない。

最近これらに加えて、労働者の50%以上が不安やストレスを感じていることが分かり、メンタル不調が問題となった。この状態を未然に防止し、ストレスの程度を把握して気づきを促すため、ストレスチェックが平成27年より導入された。ただ、健康診断と違いストレスチェックは任意とされている。

現代の社会はストレスに取り囲まれている。

出来るだけテストを受け、自己診断することと高ストレスと判定されれば、コンサルトを受け精神疾患となるのを未然に防いでいただきたい。



「最期までいのち輝かせて生きるために」

ホスピス 緩和ケア認定看護師 谷川 弘子

～もっと身近に人生会議を～

皆さん、「もしばなゲーム」ってご存知ですか？

「もしバナゲーム」とは、アメリカの終末期医療の場で、患者と医療者のコミュニケーションツールとして開発されたカードゲームを日本語に翻訳し、レクリエーション要素のあるルールも加えたものであります。

人生の最期にどうありたいかを話し合うきっかけにするのが目的です。35枚のカードには、「私を一人の人間として理解してくれる医師がいる」「尊厳が保たれる」「あらかじめ葬儀の準備をしておく」など、重病のときや死の間際に“大切なこと”として、人がよく口にする言葉が書いてあります。このカードを使えば“縁起でもない”話題を考え、ゲームを通して、友人や家族にあなたの願いを伝え、理解してもらうきっかけ作りにもなります。周囲の人たちとゲームをしておくだけで、いざという時の判断がしやすくなります。

昨年、「生と死を考える会」や「出前講座」で一般市民の方と共に行いました。年齢や立場はさまざまでしたが、皆さん真剣に取り組んで下さいました。「改めて自分自身が大切にしていることをカードをめくりながら考える事で、これから必要な事が具体的になった。」「家族と話せず先延ばしにしていたけど、人生会議は必要だと思った、家族のためにも。」などの感想を頂きました。

誰もが必要なことだと思っているのに、なかなか話題にできないのが「死」。「縁起でもない」とタブーにしてしまっているかもしれません。

“縁起でもない”話題をもっと身近に話し合えるように、もしばなゲームで人生会議してみませんか。



近江兄弟社 第115回創立記念式

W.M.ヴォーリズのはじめた事業は現在に至るまで、建築会社、製薬会社、医療福祉、教育分野へと展開していきました。事業体は「近江兄弟社グループ」として今も協力し、ヴォーリズの理念を引き継いでいます。

近江兄弟社では、ヴォーリズが近江八幡に初めて足を踏み入れた日（1905年2月2日）を「創立記念日」とし、この日改めてヴォーリズの理念、そして思いに立ち返り、それぞれの働きの礎としようとの考えです。それに先立ち、2月1日は「創立記念の夕べ」として、近江兄弟社で勤続25年を迎えられた社員に祝福と労い、そして感謝の時を催しています。

「近江兄弟社創立115年 記念の夕べ」

1月31日（金）18：00～21：00
（グリーンホテルYes近江八幡）

- 第1部 礼拝
- 第2部 25年勤続者「思い出を語る」
- 第3部 懇親会



25年勤続表彰

おめでとうございます。

近江兄弟社創立115

- 藤井みきさん
- 佐田裕子さん
- 河瀬ゆかりさん

当院からは、以上3名の方が表彰されました。



「近江兄弟社 第115回創立記念式」

2月1日（土） 9：30～12：00（ヴォーリズ平和礼拝堂）

- 第1部 記念礼拝
- 第2部 創立記念式（25年勤続表彰）
- 第3部 記念講演

「一歩み一株式会社 近江兄弟社の自主再建から現在」
講師：武倉 克晃氏（株式会社近江兄弟社取締役）



管理栄養士ようちゃん
おススメ！

食べ方について

最近、患者様や当院の職員から食べる量を減らしたのに「体重が減らない。」とか「血糖値が下がらない。」という相談をよく受けます。ダイエットや糖尿病などで血糖値を下げたい時は、まず食事の「量」については、ほとんどの方が気をつけておられますが、意外と「食べ方」については何もされていない方がほとんどです。

今回は食べる「時間」、「速さ」、「順番」がどのように私達の体に関わるのか紹介します。

時間

朝食抜きや遅い時間帯の食事、就寝前の夜食は血糖値の上昇を招き、肥満を助長します。

速さ

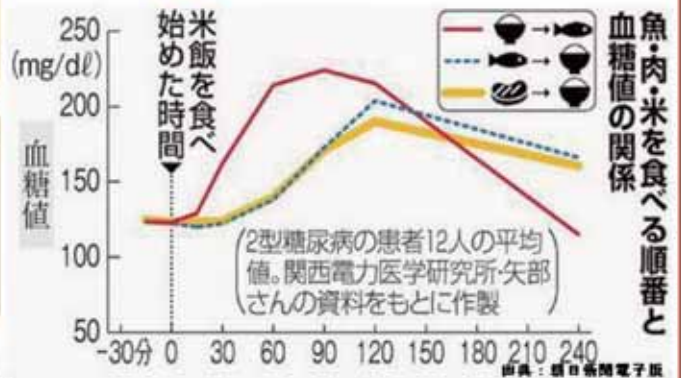
“早食い”に注意が必要です。早食いは満腹感を感じる前に多量の食事を摂ってしまい、エネルギーが過剰になりやすい他、食後血糖値の急上昇を招きます。

順番

“食べる順番”を指します。米飯の前に野菜や肉、魚などを摂取すると血糖値の上昇を抑え（表1）、更にはGLP-1（血糖値を下げる働きをするインスリンの分泌を促進するホルモン）の分泌促進や胃排泄時間の延長といった消化の負担を減らす効果もあります。



表① 食べる順番による血糖値の変動



もちろん「適量を食べる」ということは大切なポイントです。しかし、気をつけていても血糖値が落ちない、体重が減らない、という時は一度「時間」「速さ」「順番」も注意してみるとよいかもしれません。

ポイントは「3食を規則正しい時間にゆっくりとご飯の前に野菜、肉、魚から適量を食べる。」です。

医師紹介

総合診療科・消化器科

五月女 隆男 (さおとめ たかお)



【大学卒業年】 1991年 滋賀医科大学医学部

【専門分野等】 消化器内科、救急・集中治療

【読者に向けてコメント】

医師としてのスタートは消化器内科医としてでした。その後、重症急性膵炎の治療に携わるようになり、当時は急性膵炎治療の切り札であった急性血液浄化療法を極めるために、集中治療の道へ進みました。大学病院ICUで様々な重症症例と対峙し、同時に敗血症の研究に没頭。2007年には、敗血症・急性腎傷害の研究のための留学後に救急医として活動開始。2010年からは、東近江総合医療センターの救急科として東近江圏域の救急車の受け入れに専念しました。そんな救急医としての経験から、急性期後の患者さんのケアの必要性をことさらに実感し、2019年4月より現職。

今一番に感じていることは、“高齢者医療の実態と政策の乖離をいかに埋めることができるか？”であり、難題です。患者さん本人は自宅で療養したいという明確な意思をお持ちになっても、受け入れる家族の生活パターンの問題、そしてそれをサポートする社会制度の未熟さゆえに、その希望に沿えないことが多いという課題です。もちろん、病院として医療の必要な方に適切な医療を提供することは最低限の使命ではありますが、それ以上の全人的医療・在宅サポート体制の強化を目指しております。

私の基本方針は、“どんな患者さんも受け入れる”です。当院全体のスタンスとして広まることを期待しています。困ったときには私を訪ねてきてください。ちょっとはお力になれると思います。

◆ メディカルフィットネスセンターヴォーリス 会員募集中！



あなたの健康づくりをサポート

『生活習慣病予防』『介護予防』に積極的に取り組みます。



<営業時間>

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------------|--------------|-----|--------------|--------------|-----|
| 9:30 ~12:00 | ○ 11:30まで | 市委託 | ○ 12:00まで | ○ 11:30まで | 市委託 |
| 13:30 ~17:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 17:00 ~20:00 | --- | ○ | --- | --- | ○ |

市委託：市から受けている委託事業
○：一般の会員の方



〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階
電話：0748-32-5540 FAX：0748-32-5541

<休館日>

土・日・祝・年末年始など
他に当センターが定めた休日

<利用料金>

*入会金 4,500円
(各検査、評価料含む)
*月会費
週3回以上 9,030円
週2回 5,900円
週1回 3,500円

☆乳腺外来

乳がんは、女性のがん疾患患者数のトップとなりました。どのような病気でも、早期発見・早期治療はとても大切なことです。乳房に異常を感じたら、また乳房のことで不安がありましたら、どうぞ乳腺外来へご相談下さい。

診療曜日：火曜日・木曜日 13:30~15:00

予約制になっております。事前にお問い合わせください。



◆糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

病院からの
お知らせ

シリーズで偶数月の木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 2020年4月23日(木) 12:00~13:30

場所 新館研修室(病院内)

講師 薬剤師

※主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

◆2020年度 ヴォーリス介護予防教室のご案内

テーマ:「高齢者のこれからの生活に対する不安の解決(仮)」(年間5回・木曜日開催)

| 回数 | 月日 | 担当 | 内容(仮) | 講師予定 |
|----|-------|-------------|------------------------------------|---|
| 1 | 5/21 | ヴォーリス老健センター | 「脳トレして脳を活性化しましょう!」 | ヴォーリス老健センター 介護福祉士 村井 愛氏 |
| 2 | 7/16 | ヴォーリス記念病院 | 「高齢者の睡眠の特徴 ~すっきりと目覚めるために~(仮)」 | ヴォーリス記念病院 医師 深見 方博氏 |
| 3 | 9/24 | 在宅サービス部門 | 「指先の機能の衰え予防 ~気分転換に遊んでみませんか~(仮)」 | ヴォーリス居宅介護支援事業所 介護支援専門員 坂井 円氏 石井 直子氏 |
| 4 | 11/26 | ヴォーリス老健センター | 「自宅でできる簡単体操」 | ヴォーリス老健センター 理学療法士 織部 優生子氏 |
| 5 | 2/25 | ヴォーリス記念病院 | 「高齢者の食生活について(仮)」 | ヴォーリス記念病院 管理栄養士 坂本 陽介氏 |

ー 日程、講師など変更の場合もございます。最新情報をホームページでご確認ください。ー

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員:30名
 ②場所 アンドリュース記念館(旧Y M C A会館) ※近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
 ③開催時間 14:00 ~ 16:00
 ④参加費 無料
 ⑤申し込み 往復ハガキで ①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡用電話番号 を記入の上
 〒523-0806 近江八幡市北之庄町492 ヴォーリス記念病院内
 介護予防教室係 まで (単月の申し込みも受付します。)

【お問い合わせ】 ホームヘルプステーション ヴォーリス
 担当 中上 (TEL: 0748-32-7130 / FAX: 0748-36-5458) まで



地域療養支援部「医療相談課」

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします!

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

お気軽にご相談ください。 ※部屋は正面玄関入って左側でございます。

TEL (0748) 32-5211 (代) / FAX (0748) 36-5412 (直)

【人間ドック、健診についてのお問い合わせ】

医事課2番窓口にお越し頂くか、お電話(0748-36-5467)下さい。

※ お問い合わせ時間 : 13:00~17:00

<アクセス>

- ・名神高速道路竜王ICより約30分
- ・JR琵琶湖線近江八幡駅下車
北口駅前より車で約10分
- ・近江バスで長命寺行き、ヴォーリス記念病院前下車
- ・シャトル(無料送迎)バス

〒523-8523 滋賀県近江八幡市北之庄町492

電話 : 0748-32-5211 (代表)

FAX : 0748-32-2152 (代表)

HP : www.vories.or.jp/